

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成20年2月28日 (2008.2.28)

【公開番号】特開2002-249990(P2002-249990A)

【公開日】平成14年9月6日 (2002.9.6)

【出願番号】特願2001-44845(P2001-44845)

【国際特許分類】

D 0 6 P 3/00 (2006.01)

D 0 1 F 6/94 (2006.01)

D 0 2 G 3/02 (2006.01)

D 0 6 B 1/00 (2006.01)

D 0 6 M 13/224 (2006.01)

D 0 6 P 1/16 (2006.01)

D 0 6 P 1/613 (2006.01)

D 0 6 P 1/651 (2006.01)

D 0 3 D 15/00 (2006.01)

D 0 6 M 101/30 (2006.01)

【F I】

D 0 6 P 3/00 P

D 0 1 F 6/94 Z

D 0 2 G 3/02

D 0 6 B 1/00

D 0 6 M 13/224

D 0 6 P 1/16 A

D 0 6 P 1/613

D 0 6 P 1/651

D 0 3 D 15/00 A

D 0 6 M 101:30

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月15日 (2008.1.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 L 値が 80 以下であることを特徴とする着色ポリフェニレンサルファイド部材。

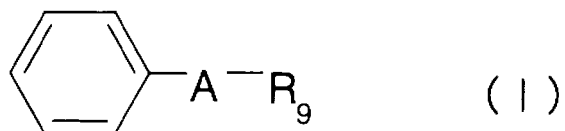
【請求項 2】 前記 L 値が 70 以下であることを特徴とする請求項 1 記載の着色ポリフェニレンサルファイド部材。

【請求項 3】 前記 L 値が 50 以下であることを特徴とする請求項 1 記載の着色ポリフェニレンサルファイド部材。

【請求項 4】 前記ポリフェニレンサルファイド部材が、繊維であることを特徴とする請求項 1 記載の着色ポリフェニレンサルファイド部材。

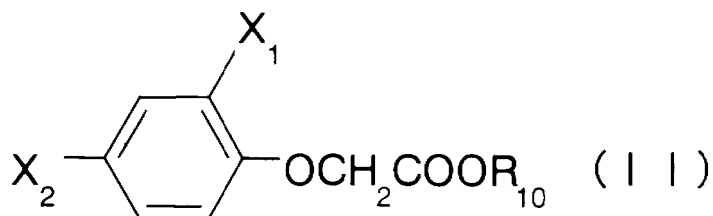
【請求項 5】 前記ポリフェニレンサルファイド部材が、以下の一般式 (I) で表される化合物および以下の一般式 (II) で表される化合物から選択される少なくとも 1 種の化合物と、乳化剤とからなるカバリング剤を含有することを特徴とする請求項 1 記載の着色ポリフェニレンサルファイド部材。

【化 1】



(ここで、A は、 $-\text{O}-$ または $-\text{C}(\text{O})\text{O}-$ であり、 R_9 はフェニル基またはその誘導体の基、あるいは置換または未置換のフェニルアルキレン基である)

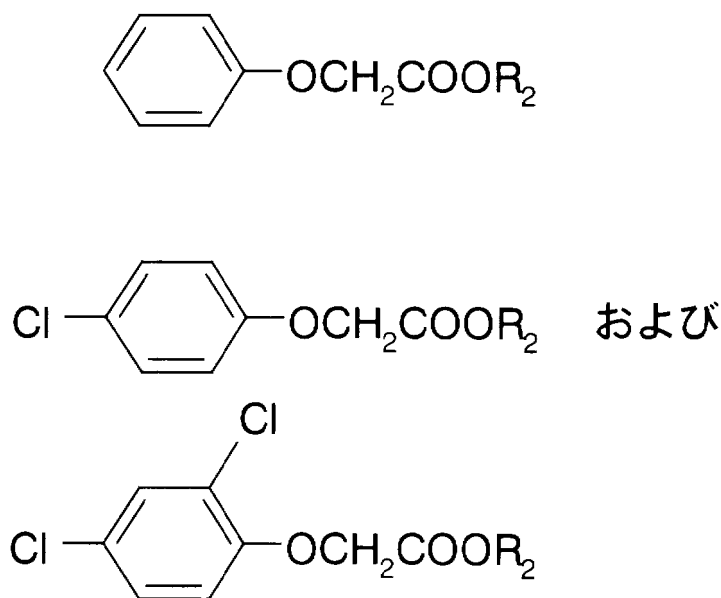
【化 2】



(ここで、 R_{10} は、1 個 ~ 5 個の炭素原子を有する脂肪族炭化水素基であり、そして X_1 および X_2 は、それぞれ独立して水素原子またはハロゲン原子である)

【請求項 6】 前記カバリング剤が、安息香酸フェニルおよびその誘導体、ベンジルベンゾエートおよびその誘導体、ジフェニルエーテル、フェニルベンジルエーテルおよびその誘導体、ならびに下記一般式で表される化合物から選ばれた少なくとも一種の化合物と、乳化剤とからなる乳化物であることを特徴とする請求項 5 記載のポリフェニレンサルファイド部材。

【化 3】



(ここで、 R_2 は、1 個 ~ 5 個の炭素原子を有する脂肪族炭化水素基である)